

内容の無断転載を固く禁じます

防災・BCPアップデート講座（7）

緊急時対応計画の検討①



【講師略歴】

BB.univ 学長 WOTA株式会社 防災・BCP担当室長 森 健

- ・1966年東京都出身。開成高校・慶応義塾大学法学部卒業。
- ・静岡県下田市役所、静岡県庁防災局出向(現:危機管理部)を含め、約12年間地方自治体で実務経験を積む。その後企業へ転職。
- ・自動車部品グローバルメーカーである住友電装株式会社においてグローバルなリスク管理体制の再構築を手掛けるなど、複数社で管理職としてリスク管理・危機管理の指揮をとる。
- ・2019年9月よりWOTA株式会社総合企画室長に着任。
- ・2020年9月よりBBuniv学長に就任。
- ・2021年4月よりWOTA株式会社防災・BCP担当室長に着任。

緊急時の対応手順（行動計画）①

➤ 災害時は非常に混乱する

- ・ 一瞬にして圧倒的な状況の変化が起きる
- ・ 資源（職員、物資、情報、インフラ）にも

制約

➤ 一方で「想定通りの被害」は起きない

- ・ 必ず想定とは何らかのズレ（差異）がある

※このジレンマに、どのように対処するか？

緊急時の対応手順（行動計画）②

被害想定を前提に
事前に決めた行動手順

現実に発生した被害
発災後の地域の状況

行動手順を
現実にあわせて
軌道修正する

緊急時の対応手順（行動計画）③

被害想定

理論・公式の解説

対応計画

- 例題
- 基本問題

(現実の) 災害対応

- 練習問題
- 応用問題

軌道修正・微調整

緊急時の対応手順（行動計画） ～整理の方法論～

- 発災後から例えば3日後、1週間後までを時系列に区分し整理する。
- 時系列に整理した区部（時間の単位）ごとに、基本方針（戦略）と具体的な対策（戦術）をわかりやすく整理する。
- その際、前提条件（被害想定＝被害シナリオ）も併せて整理すると、より活用しやすい。

緊急時の対応手順（行動計画）例①

～「大規模災害発生時における業務継続の手引き（内閣府）」による整理例～

開始時間	活動内容
発災直後	<input type="checkbox"/> 来訪者・職員の負傷者対応、避難誘導
	<input type="checkbox"/> 職員の安否確認
	<input type="checkbox"/> 庁舎の被害状況の確認
	<input type="checkbox"/> 庁舎移転及び対策本部設置の決定
3時間以内	<input type="checkbox"/> 災対本部の立上げ
	<input type="checkbox"/> 災害・被害の情報収集
	<input type="checkbox"/> 外部関係機関との情報共有、応援要請
	<input type="checkbox"/> 被災住民への支援

緊急時の対応手順（行動計画）例②

～「我孫子市職員初動行動マニュアル（全職員共通）」による整理例～

勤務時間内の初動行動

勤務時間外（夜間・休日）の初動行動

- (1) 安全確保
- (2) 職員の安全確認
- (3) 庁舎・ライフラインの点検
- (4) 外出先にいるとき
- (5) 参集

- (1) 情報の入手及び参集
- (2) 自宅・地域での活動
- (3) 参集準備
- (4) 参集手段
- (5) 庁舎参集後の行動

内容の無断転載を固く禁じます

ご清聴頂きありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方に、本日の資料を配布しております。
今後の情報発信に役立てるためにも、ぜひご協力ください。

